

2023
12
月

北房通信



風邪をひかないように気を付けてください

[第44号] 令和5年12月1日発行 北房振興局 TEL0866-52-2111

北房振興局からのお知らせや管内の出来事などを不定期で発信します。

みんなで学ぶ地域の講座 ～コミュニティと自治～

11月18日（土）に北房文化センターで、真庭なりわい塾北房実行委員会と北房未来づくりネットワークの共催による講座が開催されました。真庭なりわい塾北房実行委員会は県内外から塾生を募り、地域の成り立ちや暮らしを学ぶ真庭なりわい塾を開催しています。一方、北房未来づくりネットワークは、北房地域振興計画を実行するため、行事や文化の伝承、空き家対策をテーマに活動を続けています。

今回、両団体が開催した講座は、地域のコミュニティの在り方や、地域内で経済が回る仕組み、空き家活用などをテーマにしたものでした。講師には、愛媛大学の笠松浩樹さん、愛知



パネルディスカッションの様子

県豊田市敷島自治区で地域の空き家活用を進めている安藤征夫さんが招かれ、講義後のパネルディスカッションには、北房未来づくりネットワークの池永京子さんも登壇しました。

荒木山西塚古墳発掘調査始まる ～みんなで盛り上げよう西の明日香村～



(上) トレンチを掘り下げる作業

(左) 大学生とふるさとの魅力発信についてアイデアを出す中学生



11月25日（土）、令和4年度に引き続き令和5年度の荒木山西塚古墳の発掘調査が始まりました。この調査は、真庭市、真庭市教育委員会、同志社大学文化遺産情報科学調査研究センター、そして北房文化遺産保存会で組織する「西の明日香村コンソーシアム」が進めています。

発掘調査は市が主体ですが、地元の北房文化遺産保存会が事業に関わる「市民参画」によるもので、全国的にも珍しい調査方法をとっており、発掘作業は保存会が中心となり、これに一般公募した参加者が加わって行っています。

また、北房中学校の2年生たちも、地域の魅力を広報しようと同志社大学の大学生の力を借りながらふるさと魅力発信郷育に挑戦します。12月4日（月）には中学生と大学生が発掘現場を訪れる予定です。

北房ほたる公園整備方針

～2つの基本理念～

令和4年度に北房ほたる公園の改修整備を前提とした住民の意見を把握するため、北房振興局は「北房ほたる公園について話す会」を開催しました。また、北房振興局内に意見箱を設置し、住民意見の募集を行いました。

これらを経て、令和6年度の改修整備に向け、このたび「北房ほたる公園整備方針」を策定しました。

方針に掲げる基本理念は、「ホタルの生態が学べ、ホタルを通して人と自然が共生できる場」、「子どもから大人まで誰もが

集い交流できる癒やしの空間」の2つです。

(右) 方針の全文は真庭市ホームページからご覧いただけます。(QRコード)

(下) 現在のほたる公園



地域の防災訓練

～いざというときのために～



消防団と土嚢をつくろう

11月19日(日)に北房B&G海洋センターで、中津井せんだんの会が防災訓練を開催しました。同訓練には、自治会長をはじめとする地域の人たちや消防団が参加し、災害時に備えて避難所開設の練習や、心肺蘇生法の訓練、土嚢づくりを行いました。

また地域おこし協力隊の小野智之隊員が講師として「もしも！というときのために」と題して防災マップや日頃の備えの重要性について講演しました。

地域での防災訓練は、上水田英賀の会や水田むらづくりの会でも行われており、今後は些部ほたるの会でも行われる予定です。

日頃の訓練の積み重ねや地域のコミュニティづくりがいざというときには重要です。

地域の行事に防災をプラス 防災出前講座

真庭スポーツ振興財団では、地域の会合やサロンなどに出向く「防災出前講座」を実施しています。地域の防災力向上にご活用ください。講座や防災グッズの展示のほか、ボードゲームを使って防災を学ぶというメニューもあります。

相談のうえ、希望に沿った講座内容を選んでください。

申し込み先▶ 真庭スポーツ振興財団

TEL090-8749-8595 (防災事業専用)

0867-42-1177 (久世体育館窓口)

